

千葉県精神科病院における精神障害者地域移行支援の実施に関する調査（案）

【目的】

本調査は、精神科病院内での地域移行に向けた独自の取り組み、地域との連携、退院に向けた会議への関係者の参加や退院後の訪問等を行うなど、精神障害者地域移行支援に積極的に取り組む地域の精神科病院を把握し、「地域移行・定着協力病院」として指定。指定された病院は公表することで、精神科病院にインセンティブを与える仕組みをつくります。

【調査対象】

千葉県内に所存する精神科病床を有する全ての病院

【調査結果】

「地域移行・定着協力病院」と指定された病院については、千葉県ホームページ等で公表する。

【地域移行・定着協力指定の条件】

アンケートに協力し、公表を希望される病院の中で、地域移行支援の取り組み等についての設問4、5、7、（※網掛けのある設問）の全てを①と回答した病院

病院名 _____

回答者職氏名 _____

○地域移行支援の取り組み等について

1 障害者総合支援法の個別給付である地域移行サービス^{※1}・地域定着サービス^{※2}についてご存じですか。

- ① 知っている ②知らない

2 貴病院で、地域移行サービスを利用されたことはありますか。

- ① ある ②ない

3 千葉県精神障害者地域移行支援事業^{※3}をご存じですか。

- ① 知っている ②知らない

4 千葉県精神障害者地域移行支援事業の中の、地域移行支援協議会^{※4}に参加されていますか。

- ① 参加 ②不参加

4—2 不参加の理由を教えてください。

(自由回答)

5 貴院では、入院患者の地域移行に向けた他職種の集まる院内の会議を行っていますか。

- ① 行っている ②行っていない

5—2 行っている場合、頻度をお答えください。

- ① 週1回以上 ②1月に1回以上 ③半年に1回以上 ④1年に1回以上 ⑤その他

6 高齢入院患者地域支援事業^{※5}の実施を検討していますか。

- ①している ②していない

7 遠隔地入院患者^{※5}の退院支援の協力をいただけますか。

- ①協力する ②協力しない

○病棟の様子について

項目						実数	
1、病床数						床	
2、在院患者数						人	
2－1、1年以上の在院患者数						人	
2－2、65歳以上かつ1年以上の在院患者数						人	
2－3、在院患者数の詳細							
		区分	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	合計
在 院 患 者 数	合計	20歳未満					
		20歳以上40歳未満					
		40歳以上65歳未満					
		65歳以上75歳未満					
		75歳以上	(6	(7	(8	(9	(1
		計					
	措置入院	20歳未満					
		20歳以上40歳未満					
		40歳以上65歳未満					
		65歳以上70歳未満					
		70歳以上75歳未満					
		75歳以上					
	計						
	医療保護入院	20歳未満					
		20歳以上40歳未満					
		40歳以上65歳未満					
		65歳以上75歳未満					
		75歳以上					
		計					
	任意入院	20歳未満					
		20歳以上40歳未満					
		40歳以上65歳未満					
		65歳以上75歳未満					
		75歳以上					
		計					
	その他の入院	20歳未満					
		20歳以上40歳未満					
		40歳以上65歳未満					
		65歳以上75歳未満					

		75歳以上						
		計						

3、上記2－1の者で、支援があれば退院できると思われる数	人
3－2 具体的にどのような支援があれば退院できると思われますか。 (記述)	
4、上記2－1の者で、帰宅希望先が障害保健福祉圏域 ^{※6} 外である方 例) 市原市の病院であるが、帰宅先希望住所は千葉市の方	人

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

○本調査の公表について

1 回答を、地域移行支援協議会にて公表することを承諾していただけますか。

- ① 承諾します ②承諾しません

※承諾されない場合は、地域移行・定着協力病院の基準を満たしません。

2 地域移行・定着協力病院と指定された場合、その旨の公表を承諾していただけますか。

- ① 承諾します ②承諾しません

※承諾されない場合は、地域移行・定着協力病院の基準を満たしません。

《用語の説明》

※1 地域移行サービス

指定一般相談支援事業所が実施するサービス。

精神科病院に入院している精神障害のある人について、住居の確保そのほかの地域における生活に移行するための活動に関する相談等を行う。

※2 地域定着サービス

指定一般相談支援事業所が実施するサービス。

居宅において単身等の状況で生活する障害のある人について、当該障害者との常時の連絡体制を確保し、障害特性に起因して生じた緊急の事態などに相談等を実施する。

※3 千葉県精神障害者地域移行支援事業

厚生労働省が示す精神障害者地域移行・地域定着支援事業に基づく千葉県事業。

障害保健福祉圏域ごとに1事業所（主に地域活動支援センター）に委託をしている。

精神障害者が住み慣れた地域を拠点とし、自らの意向に即して充実した生活を送ることができるよう、関係機関の連携の下で、医療、福祉等の支援を行うという観点に基づき、統合失調症を始めとする入院患者の減少及び地域生活への移行に向けた支援並びに地域生活を継続するための支援を推進することを目的に、関係機関が集まる地域移行支援協議会等を運営している。

※4 地域移行支援協議会

精神障害者が住み慣れた地域を拠点とし、自らの意向に即して充実した生活を送ることができるよう、関係機関の連携の下で、医療、福祉等の支援を行うという観点に基づき、統合失調症を始めとする入院患者の減少及び地域生活への移行に向けた支援並びに地域生活を継続するための支援を推進することを目的に、関係機関が集まる地域移行支援協議会を千葉県精神障害者地域移行支援事業の一環として平成16年（当初はモデル事業として、実施）より行っている。

※5 高齢入院患者地域支援事業

精神障害者地域移行・地域定着支援事業のメニューとして、長期高齢入院患者に対して、院内の専門職種と地域の関係者がチームとなり、退院に向けた包括的な支援プログラムを実施し、地域移行を目指すための事業。平成24年度より厚生労働省が新設し、千葉県では、平成25年度からの実施を検討している。

※6 遠隔地入院患者の退院支援

遠方の医療機関に入院をし、地元への退院を望んでいる入院患者に対し、地元の精神科病院が転院の受け入れを行い、地域移行サービスの利用を図りながら本人の自宅等へ退院させるまでの支援のことをさす。

※7 障害保健福祉圏域

障害福祉サービスの実施主体は原則市町村であるが、サービスを面的・計画的に整備し、重層的なネットワークを構築するための市町村との県の中間的な単位。健康福祉センターの区域を基本とした13圏域と、千葉市、船橋市及び柏市を加えた計16圏域を設定している。